

(乙の4)

(工作物の新築、改築、除却)

- 1 河川の名称                      信濃川水系                      川                      岸
- 2 目                      的
- 3 場                      所
- 4 工作物の名称又は種類
- 5 工作物の構造又は能力
- 6 工事の実施方法
- 7 工                      期                      許可の日から 令和                      年                      月                      日まで  
(または、許可の日から                      日間)
- 8 占 用 面 積
- 9 占用の期間                      許可の日から 令和                      年                      月                      日まで

【記載例】

(乙の4)

(工作物の新築、改築、除却)

- 1 河川の名称 信濃川水系 信濃川 左岸
- 2 目的 市道〇〇線 新設のため
- 3 場所 新潟市〇〇区〇〇町〇〇番地先
- 4 工作物の名称又は種類 市道〇〇線
- 5 工作物の構造又は能力  
延長  $L = \text{〇〇 m}$  幅員  $W = \text{〇〇 m}$   
表層工  $t = \text{〇 cm}$  路盤工  $t = \text{〇 cm}$   
張芝工  $\text{〇〇 m}^2$
- 6 工事の実施方法 申請書添付図書のとおり
- 7 工期 許可の日から 令和〇〇年〇〇月〇〇日まで
- 8 占用面積  $200 \text{ m}^2$
- 9 占用の期間 許可の日から 令和〇〇年〇〇月〇〇日まで

【記載例】

(乙の4)

(工作物の新築、改築、除却)

- 1 河川の名称 信濃川水系 信濃川
- 2 目的 電気通信施設 新設のため (〇〇橋添架)
- 3 場所 左岸 燕市〇〇町〇〇番地先 から  
右岸 三条市△△町△△番地先 まで
- 4 工作物の名称又は種類 電気通信施設
- 5 工作物の構造又は能力  
通信線路 〇〇m (橋梁添架部 △△m 埋設部 □□m (左岸) ××m (右岸))  
管路 L=〇〇m×△条  
PVC管 外径〇〇mm L=□□m (橋梁添架部)  
鋼管 外径〇〇mm L=××m (埋設部)  
光ファイバーケーブル (管路内布設)  
100DSM-IFS光ファイバーケーブル L=〇〇m×△条
- 6 工事の実施方法 申請書添付図書のとおり
- 7 工期 許可の日から 200日間
- 8 占用面積 通信線路 L=〇〇m
- 9 占用の期間 許可の日から 令和〇〇年〇〇月〇〇日まで

## 【記載要領】

### ○河川の名称

水系名、河川名、左右岸の別（左右岸にまたがる場合は記載の必要はありませんが、「場所」の欄でそれぞれの区別を記載します。）を明記してください。

### ○目的

法第26条の許可に係る行為の目的と、土地の占用が伴う場合は当該許可に係る工作物のために必要とする土地の占用の目的とが一致するよう、「〇〇排水樋管設置のため」「県道〇〇橋架替のため」などと記載してください。

### ○場所

- ・「字〇〇番地先」まで明記してください。なお、占用が左右岸にまたがる場合には、左岸右岸それぞれに分けて記載してください。
- ・河川保全区域内に工作物が及ぶものについては、河川区域内と河川保全区域内とに分けて記載してください。

### ○工作物の名称又は種類

主要な工作物の名称又は種類を記載してください。

### ○工作物の構造又は能力

主要な工作物の構造又は能力を記載してください。

### ○工事の実施方法

工事の実施にあたっての治水上の措置、仮設物の設置並びに施工の順序等について、工事工程表に照応するよう具体的に記載してください。

なお、施工計画書などの別紙に記載する場合、「申請書添付図書のとおり」と記載しても可能です。

### ○工期

特別の事情を除き、なるべく工期のみの変更が生じないよう、工事工程表を的確に作成し、工期を決定して記載してください。なお、許可期間内に完成検査を実施する必要があるため、実質工期よりもある程度余裕を持って設定してください。

### ○占用面積

占用面積計算書より1平方メートル未満を切捨てて記載してください。

### ○占用の期間

変更の許可申請の場合、現在受けている占用の許可期限の日付けまでとしてください。

### ○その他

- ・変更の許可申請の場合、変更のない事項についても記載し、かつ、変更する事項については変更前のものを赤色で上段に併記してください。
- ・用紙の大きさは、日本工業規格A4の寸法のものでお願いします。なお、添付図書でA4を超えるものは、折りたたんでサイズを合わせてください。

## 【添付図書】（河川法施行規則第15条）

### ○事業計画概要書

新築等に係る事業の計画の概要を具体的に記載してください。

○位置図

縮尺は 1/50,000 とし、申請箇所を○印で表示し、「申請箇所」と赤書きしてください。

○実測平面図

- ・縮尺は 1/100～1/3,000 の範囲としてください。
- ・申請に係る行為によって影響があると判断される区域まで含めて実測してください。
- ・申請範囲、河川区域、河川保全区域、官民境界を赤線で必ず明示してください。
- ・必要に応じ、横断面図と比較できるように測線（測点）を記入してください。

○実測横断面図

- ・縮尺は状況に応じ、1/100～1/1,000 としてください。
- ・平面図同様、申請範囲、河川区域、河川保全区域、官民境界を赤線で必ず明示してください。
- ・堤防に近接して工作物を設置する場合は、必ず、堤防を含めた図面を作成してください。

○工作物の設計図

- ・設計図の内容は、次のとおりとしてください。なお、工作物の種類によっては不要な図面もありますので、ご不明な場合は窓口にご相談ください。また、縮尺はあくまで目安ですので、図面構成により変更することは構いません。

工作物の平面図

工作物の正面図（橋梁等河川の横過物にあつては、河川改修計画の定規断面、計画高水位及び余裕高を明記してください。）

工作物の側面図

工作物の構造図（縮尺 1/50～1/200）

取付護岸（根固工含む）の平面図（縮尺 1/500～1/3,000）

取付護岸（根固工含む）の横断面図（現河床及び計画河床高を明記してください。）  
（縮尺 1/100～1/200）

取付護岸（根固工含む）の構造図（縮尺 1/50～1/100）

- ・正面図又は側面図は、申請工作物と現況河床又は計画河床若しくは河川管理施設との関係が明らかになるように作成し、計画高水位を明示してください。
- ・排水樋管等、堤体を横過して設置する工作物の側面図には、流下勾配、敷高及び計画高水位を明示してください。
- ・申請工作物のため仮締切を必要とするものは、その工法及び計画高水位並びに掘削、堤防との関係を明らかにした詳細図を作成してください。
- ・図面には整理番号を付し、図面袋の表側に添付図面の一覧表を貼付してください。

○工事の実施方法を記載した図書

工事の実施上の問題点とその対策を記載した図書を添付してください。

○工程表

申請内容に沿って工種別に作成してください。

○工事費概算書

全体の金額のみの記載でも可能です。

○占用する土地の面積計算書及び丈量図

- ・丈量図の縮尺は 1/500～1/1,000 としてください。
- ・面積計算は㎡単位とし、小数点以下第2位まで計算してください。
- ・計算は三斜法、座標法などで行ってください。

○土地の権原に関する図書

占用箇所の土地の権利関係を確認するため、下記の書類を地方法務局等から入手してください。

- ・不動産登記法第14条地図またはこれに準ずる図面（公図）の写し
- ・土地登記簿の謄本または抄本

○河川管理者以外のものがその権限を有すること又は権原を取得する見込みが十分であることを示す書面

同意書、売買契約書の写し、賃貸借契約書の写しなどを添付してください。

○他の行政機関の許認可書の写し

申請に係る行為または事業に関し、他の行政機関の許可・認可などの処分を受けることを必要とする場合、許可書・認可書等の写し又は許認可等を受ける見込みがあることを示す書面（申請書の写しなど）を添付してください。

○現地写真

○前回許可書の写し

更新申請及び変更申請の場合のみ添付してください。

○河川に排水を行うための工作物の場合は、排水に関する書類